

第2次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画（案）に対するパブリック・コメント手続の実施結果について

1 意見の提出期間

令和6年12月16日（月）から令和7年1月14日（火）まで

2 意見の提出者数等

件数	提出者数	意見の提出方法別の人数				
		オンライン	郵送	FAX	意見投函箱	窓口
13	13	8	0	4	1	0

3 意見の概要と市の考え方

NO.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
1	-	-	<p>子供たちのために色々と考えてくださり、ありがとうございます。</p> <p>府中一小と府中四中の簡単な改修工事より、それなら、増築を望みます。一極集中を分散できないなら、ゆとりある空間をお願いしたいです。ある府中の小学校では、少人数制を試していて、2クラスにできる人数のところを、わざわざ、3クラスにしていると聞きました。正直、羨ましい限りです。資料に記載あるような公平さを、切に願います。府中一小なら、裏手の公園やテニスコートなどを移設して、校舎や体育館を増やすことはできないでしょうか。府中四中は、一般家屋に囲まれていて、増築は難しいと思うので、このエリアに集中しないよう、少ない生徒数のところへ、分散を願います。</p> <p>記載にもある通り、少子化傾向は重々承知です。</p>	<p>本市では、全ての市立小・中学校において、児童・生徒数に見合った教室数を確保しており、教室数が足りなくならないよう、必要に応じ増築等を行い対応しています。</p> <p>なお、1学級当たりの児童・生徒数の上限は、令和6年度においては、小学校の第1学年から第5学年までを35人、第6学年は40人を基準として学級編成をしております。さらに、東京都では中1ギャップを解消するため、第1学年に対してのみ、都が定める基準において、教員の加配による学級規模の縮小、ティームティーチング又は少人数指導等を選択できる独自の制度があり、学校の判断によって、第1学年を35人学級にて編成する学校もあります。</p> <p>また、児童数・学級数に対する「適正規模・適正配置」の取組については、協議会を設置するな</p>

			<p>なので、府中市全体で、少ない学校に分散するなど、ある程度強行な政策で、公平な生徒数にしていきたいです。</p> <p>子供たちに、公平な教育環境をどうぞ宜しくお願い申し上げます。</p>	<p>ど検討を重ねてまいりました。今回の計画においても、将来の児童・生徒数の増減に対応できることを基本的な在り方としており、今後も、子供たちにとって、より良い教育環境を整備してまいります。</p>
2	60	<p>第5章 本市の老朽化対策の進め方/③地域と連携し、地域の拠点となる学校/（1）一次避難所の利用を想定した整備</p>	<p>府中市のはけしたに作る施設は防災対策を下下さい。</p> <p>電源設備(キュービクル等)を水が届かない所へ移動して下さい。</p>	<p>浸水想定区域内に位置する学校については、風水害時における避難場所には指定されていませんが、改築に合わせて対策を行います。</p>
3	57	<p>第5章 本市の老朽化対策の進め方/1老朽化対策の基本的な在り方/①学校施設の老朽化状況等を踏まえた老朽化対策</p>	<p>子供が府中五小に通っています。</p> <p>クラブ活動で、府中市内の体育館に行く機会が多いのですが、建替え工事を完了している体育館以外のトイレが全て和式トイレです。</p> <p>体育館を建替えるまでは言いませんが、せめて、各学校の体育館のトイレだけを早急に洋式トイレに変えてほしいです。</p> <p>府中五小もよくクラブ活動で他地区の小学生が体育館に来ています。使いやすい洋式トイレに工事をしていただくと、府中市の子どもに対する支援の印象がさらに良くなると思います。</p> <p>また、府中五小は土砂災害警戒区域にあたります。児童の安全を守るためにも他の小学校よりも優先して、何か対策をお願いします。</p>	<p>令和6年度に全ての市立小・中学校において校舎のトイレの洋式化が完了しました。今後、体育館等のトイレ改修についても順次取り組んでまいります。</p> <p>府中五小につきましては、次期改築実施校として、土砂災害警戒区域の状況を踏まえたうえで校舎等の配置を検討します。</p>
4	64	<p>第5章本市の老朽化対策の進め方/3学校施設の整備費用</p>	<p>学校の老朽化対策は必要と考えます。安全な校舎で子供達を学ばせる事は親にとっても、安心です。また、学校施設は災害時の防災拠点です。計画を進めて頂ける様に願います。但し、コストに</p>	<p>公平な教育環境を確保しつつ、改築費や維持管理の縮減に努め、補助金などの財源の確保にも努めていきます。</p>

			<p>関しては、無理な計画は避け、出来るだけ多くの学校に予算が行き渡る政策を願います。グラウンド整備は既存利用する等。</p>	
5	4 2 7 1 9 9	<p>第3章 学校施設の現状と課題/6 地域拠点としての学校施設の現状と課題</p> <p>第6章 各学校の老朽化対策を実施するに当たっての整備方針/3 学校施設における建物の整備方針及び配置方針/4 学校施設における各施設の整備方針</p>	<p>プールの活用について拠点校とプールがない学校が出来てしまうとのことですが、プールのない学校は移動時間が追加され学業確保の時間がプールがある拠点校と不平等が生じてしまいます。子どもが幼稚園の頃、外部施設のプールへ移動していた際は午前中丸々を使って移動・内1時間レッスンをしていました。</p> <p>拠点校と移動に関してはあまり現実的な活用方法では無い気がします。</p> <p>1校あたり運用が2億かかるとのことですが、コスト面をもう少し下げて各学校に配置することは不可能なのではないでしょうか。</p> <p>矢崎小では2つのプールがあるのですが、1校に1つのプールにし維持費のコストを下げることも視野に入れてみてはどうでしょうか。</p> <p>他府県でプールがない学校の事例は聞いたことがありませんので子育てをする世代としては不安に感じています。</p> <p>プールがない学校が府中市にあるというのが他府県に知られれば、転入される方が府中市を選択から外す可能性は高くなるのではないのでしょうか。</p> <p>そうなると後々の府中市の市制に影響を及ぼすと思いますし、より良い学習環境を求めて転出者が多くなり児童数が予想より少なくなると思います。</p> <p>学校間の学業確保の機会が不平等になるのであれば、いっそのこと府中市がプール学習を外注化することを検討された方が良いかと思います。</p>	<p>近年の酷暑を受け、熱中症対策の一環として、学校プールの屋内化・集約化の議論は避けては通れないものと認識しております。また、他自治体においても集約化によりプールを設置しない方針を策定している事例もあることから、児童・生徒の安全を第一として、幅広い視点から検討し、広くご意見を伺いつつ、学校プールの整備方針を策定します。</p>

			府中市内あるプール学習を行っている民間事業に委託・府中市の運営する室内プールを増設することも検討してはいかがでしょうか。	
6	27	第3章 学校施設の現状と課題 「新たな教育ニーズへの取組と課題」	学校施設のバリアフリー化一層の推進が必要で、誰もが支障なく学校生活を送ることができるよう環境を整備して行く必要があると思う。バリアフリーに関しての具体的な考え方をしっかりと記載して行く必要があるので検討して欲しい。	本市では、トイレ改修において全校にバリアフリートイレ（車椅子・オストメイト対応）を設置するなど、学校施設のバリアフリー化に努めています。 学校施設改築事業においても、バリアフリーに対応した施設を実施しているため、計画に詳細な内容を追加しました。
7	-	-	日頃の市教育行政への尽力に敬意を表します。 さて、市の小中学校経年化等の為「第2次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画（案）」の策定がすすめられている様ですが、当該地域の小中学校に通わせている父母達や周辺住民に情報が届いておりません。 今後、検討委員会等をもって進めていかれる場合、「住民自治の観点」をもって進めてほしいと願います。 当該地域住民に（特にPTA）すみやかに状況報告をお願いしたいです。 そしてどんな形のPTを持つ場合にも、PTAや地域住民のメンバーを複数名委員として意見反映できるように希望します。 行政だけで進めていくと折角の努力も評価されないことが多々あります。 よろしく検討下さい。	本計画を改定するにあたり、令和5年度から令和6年度にかけて、PTA選出の委員を含んだ協議会を開催し、会議の詳細や答申内容などを公開してまいりました。 また、これまでも、各校の改築事業を実施にあたっては、児童・生徒の意見を聞き、保護者、自治会関係者と意見交換を行ってまいりましたので、今後も引き続き市民の皆様の声を反映する場を作ってまいります。
8	-	-	今回出された答申は、教育委員会宛てに出されておりますので、教育的見地からの検討のための市民からの意見提出と捉えてよろしいでしょうか。 学校施設の防震対策等を含めて、老朽化の対策	今回のパブリック・コメント手続きは、本計画（案）に対する意見提出の機会となります。 小規模校化する学校は、多様な考え方に接する機会が少なくなるなどの課題が生じるため、適正規模とすることによって、集団の中で多様な考え

			<p>をしなければならないことは必要な施策と考えます。しかし、改築に絡めての小規模校の統廃合には疑義があります。学校は地域文化の拠点です。結婚して府中に居を構え、子ども達全員が地元の小中学校に通学し、地元に住み続けている子どもも、又、親となり、孫2人も、子どもの母校に通いました。</p> <p>現在、自治会の「児童の登校見守りのボランティアをしています。通学区域の見直しが子ども達にとって有意義であれば考えて欲しい事柄です。</p> <p>しかし、具体的説明なしに、工事工程が決められているのに驚いています。地域にもかかわりのある学校統廃合については、地域住民はじめ先生や職員の方々を含めた関係者への説明会を開き、次第を担う子ども達の成長にプラスになる道を選ぶように叡知を出し合うべきだと考えます。何よりも経緯の説明会を開いて下さい。</p>	<p>方に接し、切磋琢磨することで一人一人の資質や能力が伸びやすいと考えております。</p> <p>今後、統合を検討するに当たっては、該当校の児童・生徒、保護者、PTA、地域住民等を対象に、説明会などで情報提供を行ってまいります。</p>
9	-	-	<p>武蔵台地域在住です。武蔵台小学校には子どもがお世話になり、楽しい学校生活を過ごすことができました。この度、府中市の小中学校改築・改修計画（案）が提案されました。老朽化への対応は必要なことと思います。これに関わって意見を申し上げたいと思います。</p> <p>① 武蔵台3丁目は現武蔵台小学校までは距離があり、特に低学年の間は子どもの足で20分から30分かかります。また、ランドセルも重くて大変でした。ご近所には障害のあるお子さんもいらっしゃいます。武蔵台3丁目の子どもたちにとって、学校の登校範囲としては現状で限界です。2校を統合するのは無理があると思いますので現状の位置に武小、7小とそれぞれの位置に改築するのが妥当ではないかと考えます。</p>	<p>① 七小と武蔵台小は統合検討校と位置付けており、今後、統合を検討するに当たっては、地域住民の方のご意見も踏まえながら進めてまいります。</p> <p>② 本計画を改定するにあたり、令和5年度から令和6年度にかけて、PTA選出の委員を含んだ協議会を開催し、会議の詳細や答申内容などを公開してまいりました。</p> <p>また、これまでも、各校の改築事業を実施にあたっては、児童・生徒の意見を聞き、保護者、自治会関係者と意見交換を行ってまいりましたので、今後も引き続き市民の皆様の声を反映する場を作ってまいります。</p>

			<p>② 今後、第1グループ、第2グループの計画が実行されるスケジュール案を見ても10年ほどの時間をかけて具体化されるようです。子どもたちが生き生きと学ぶことができるようにするためにぜひ多くの意見を取り上げて検討を重ねていただきたい。今回のパブリックコメントの期間は1か月であり、提案を周知するだけでも不十分だと思います。とりわけ子どもたちの保護者の意見、PTAの意見を聞いてほしいと思います。市の検討事項の計画の中に反映できるように当事者として意見を言える場を作るべきだと考えます。以上、市民の声を反映する十分な場を作っていたきたいと考えます。</p>	
10	-	-	<p>府中公立小中学校の統廃合に関する意見書 標記の件に関して市議会議員さんから伝えきいてびっくりしました。</p> <p>こんな大事な問題について、当局からきちんとした説明も無しに、「意見書（パブコメ）を提出するように」と聞いて、二度びっくりしました。</p> <p>日本の地域社会は、古くから公立小中学校を中心に、学校行事などを通して地域住民が結び付き、発展してきた特徴があります。</p> <p>「学校は地域に浮かぶ船」「学校は地域文化の拠点」と言われています。</p> <p>地域住民にとって、親が学び、その子が学び、さらにその子の子が学び、幾世代もの歴史を繋いできた自分たちの学校が無くなるということは大事件。大問題です。当局がその経緯も説明しないで、「意見書を出せ」とは無理な話だと思います。まして、工事日程まで決めるとはあまりにも、無謀だと思います。</p> <p>行政がまずやるべきことは、「地域社会への経緯</p>	<p>今回の計画（案）は、「府中市学校施設老朽化対策推進協議会」や「府中市学校適正規模・適正配置検討協議会」における協議結果を踏まえ、作成しました。</p> <p>なお、両協議会には、学識経験者や、学校関係者、PTAや自治会関係者などに加えて、公募市民にもご参加いただくなど、様々な立場の方も交えて、丁寧な協議をしていただきました。</p> <p>今後、統合を検討するに当たっては、該当校の児童・生徒、保護者、PTA、地域住民等を対象に、説明会などで情報提供を行ってまいります。</p> <p>また、統合に向けた具体的な取組においては、校地など様々な調整が必要であり、その過程の中で、PTAや地域住民の方のご意見も踏まえて、進めてまいります。</p>

			<p>の説明会」ではないのでしょうか。地域と深い関係のある学校統廃合の問題は、地域社会、PTA・学校同窓会・府中市教職員等、関係者などへの説明会を重ね、理解・協力・納得・合意を広げながら事を進めるのが教育行政のあるべき姿ではないでしょうか。</p> <p>まず何よりも、「経緯の説明会」を開いてください。お聞きしたいことがいろいろあります。</p>	
11	-	-	<p>まず、第1に、本件の案について内容が分かりにくい！と思います。</p> <p>膨大な資料の中から最も大事な、「現存する学校の統合」という重大な内容が書かれていること、これを読み取ったり、理解することがわかりにくいまま、意見を求めるということになっています。</p> <p>こういう状態のままで「市民には意見を求めた」ということになるのであれば、むしろ大事な内容が市民に知らされないまま、行政が進められてと判断せざるを得ない状態だと思います。</p> <p>きちんとした説明会が開かれることを希望します。該当する学校からの何の説明もありません。</p> <p>第2は、本件の提案の土台となっている「府中市学校の適正規模・適正配置の実施に向けた方策について（答申）」については府中市教育委員会宛の文章であり一般市民にどこまで公表されているのか？どのように知らせる努力がなされているのか？ホームページを見ろ！というでは提案内容が知らされていないのと同じではありませんか？</p> <p>まずこういう市の未来を考えていくにあたって重要な提案については市民に分かりやすく公表され、市民全体で考えていくといったきっかけを作ることこそが市の行政に求められているのではあ</p>	<p>統合を検討するに当たっては、該当校の児童・生徒、保護者、PTA、地域住民等を対象に、説明会などで情報提供を行ってまいります。</p> <p>また、統合に向けた具体的な取組においては、校地など様々な調整が必要であり、その過程の中で、PTAや地域住民の方のご意見も踏まえて、進めてまいります。</p> <p>今回の計画は、「第3次府中市学校教育プラン」や「府中市立学校の適正規模・適正配置の実施に向けた方策について（答申）」などの学校施設に関連する計画等と整合性を図りつつ、新しい教育ニーズに対応した学校づくりなどを目指した内容としております。</p>

			<p>りませんか？ わかりやすい（答申）についての説明を是非実行していただくことを希望します。</p> <p>第3に、今回の案についても、適正化の答申についても、すでに該当する学校名が公表されているにも関わらず、該当する地域住民、保護者、関係者についても全く知らされていないことは大変重要なことだと思います。このまま進められようとしているのでしょうか。</p> <p>第4に、今回の提案が規模の問題から考えていますが、そもそも子ども達への教育的な観点からの見解はどうなっているのでしょうか？</p> <p>最後に子ども達の問題は少子化のこと、学力の問題、コミュニティー能力のこと等など沢山あると思います。府中市で住み続け、誇りある子育てしていくにふさわしい場所であってほしいと願って今回意見を出させていただきました。どうぞ宜しくご配慮をお願いします。</p>	
1 2	-	-	<p>直接該当する地域ではありませんが、小学校の統廃合が住民の声を直接聞きながら具体案を検討することなく提案されることに驚いています。そもそも市立の学校はその地域に暮らす住民とその子弟が主人公で有るべきです。学区域の変更にはどんな問題が含まれているか全てを抽出し、疑問意見を児童生徒父母教師などで議論しながら進行させていくことが大切です。上から目線で生徒父母に押し付けることがないことを切に望みます。民主主義は時間がかかるのは当然です。より良い地域社会を一步でも進めるために、いま大人が子供に示すことがどんなにか必要なことではないでしょうか。</p>	<p>今回の計画（案）に至るまでには、「府中市学校施設老朽化対策推進協議会」や「府中市学校適正規模・適正配置検討協議会」において協議を重ねてまいりました。</p> <p>なお、両協議会には、学識経験者や、学校関係者、PTAや自治会関係者などに加えて、公募市民にもご参加いただくなど、様々な立場の方も交えて、丁寧な協議をしていただきました。</p> <p>統合に向けた具体的な取組においては、校地など様々な調整が必要であり、その過程の中で、PTAや地域住民の方のご意見も踏まえて、進めてまいります。</p>

13	-	-	<p>この大きな事業の推進に当たって、私が要望したいことを気ままに述べます。 宜しく申し上げます。</p> <p>はじめに 施設改築・長寿命化改修計画案の名の下、「七小・武蔵台小」、「七中・十中」との統合2案が、いずれも私の住むエリアの問題であることに少なからずショックを受けています。</p> <p>今後、時代を超えて永く引き継がれていくこの課題が、望ましい前例の積み重ねの上に発展し続けるよう、関係者各位のご奮闘をお願いします。合せて、行政に依存し過ぎない地域社会や学校・PTAの協力関係が重要になります。行政・地域（住民）・学校の協力による発展が自然な流れだと思えます。</p> <p>1. 子どもが減って高齢者が増え、まちの様相も、学校の雰囲気も活気も変わっていくでしょうが、「学級数の少ない学校を減らして、大型化を進める」という発想には限界があると思う。</p> <p>2. 高齢者の知恵・経験と、子どもたち（学校教育）が手を取り合って、地域に新たな社会教育のステーション建設をめざしてほしい。</p> <p>3. どちらかと言えば学校は大型化をめざすより、小型化をめざす方が豊かに光り輝くとの思いが消し去れない。</p> <p>4. 私学の小中学校に倣って、公立の小中学校も、もっと地域性や個性的な特色を持つ教育をもっと取り入れるのはどうだろうか？</p>	<p>今後の学校づくりについては、様々な要素を踏まえて、総合的に検討を進めることが必要だと考えております。</p> <p>今後も引き続き、市教育委員会だけではなく、市の関係部署などとも連携を図り、社会情勢を注視しつつ取り組んでまいります。</p> <p>1・3 小規模校化する学校は、人間関係の固定化により問題発生の際の解決が難しくなることや、多様な考え方に接する機会が少なくなるなどの課題が生じるため、学校規模の適正化を図ることが必要となっており、適正規模とすることによって、集団の中で多様な考え方に接し、切磋琢磨することで一人一人の資質や能力が伸びやすいと考えております。</p> <p>2 本計画において、避難所利用を想定した整備や、地域開放範囲の拡充について定めており、地域と連携し、地域の拠点となる学校づくりを目指しております。</p> <p>4 地域と連携した特色ある教育活動は、教育環境の充実や、持続可能な地域づくり、子どもたちの社会性の育成といった意義をもつことから、各学校が教育課程を編成する際に、重視する内容として示しています。これを受け、各学校は、オリンピック・パラリンピック教育やふるさと学習を関連させて取り組んでいる府中2020レガシーとして位置付け、ボッチャや車いすバスケットボールなどのパラスポーツ等の体験や、手話、車いすの福祉体験を通した障害者理解教育、米作りや菊づくりなどの体験を通した環境教育、お囃子や</p>
----	---	---	--	---

				雅楽、よさこいなどの伝統文化に関する体験を通じたふるさと学習など、様々な取組を行っているところです。
--	--	--	--	--